

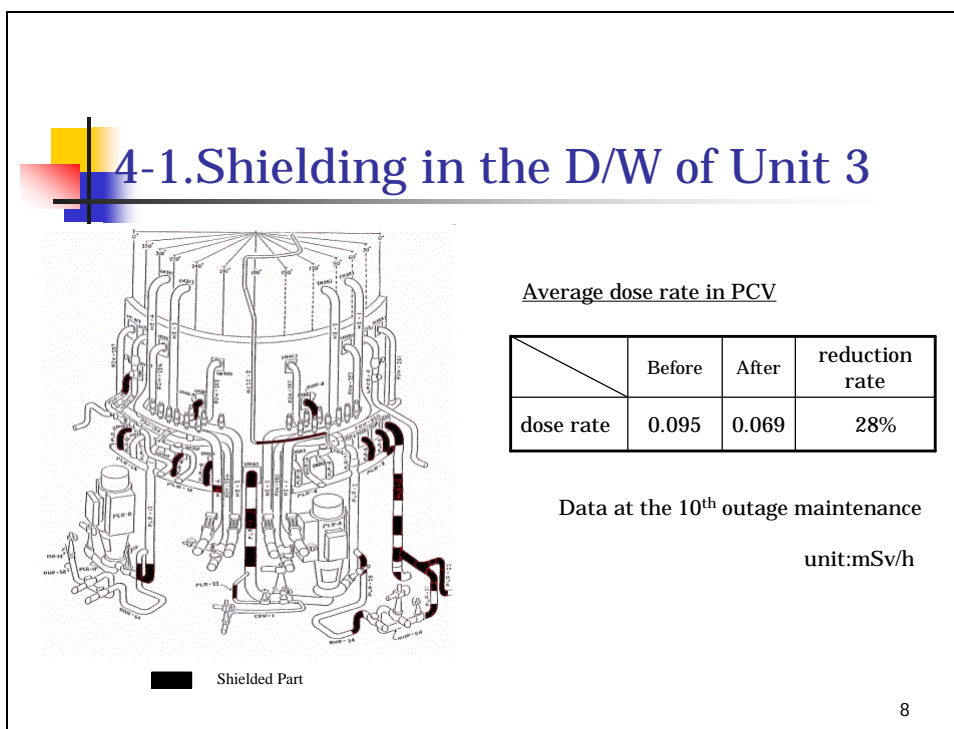
日本の取り組み

「現場における線量低減への取り組み」

中部電力 鈴木慶一氏

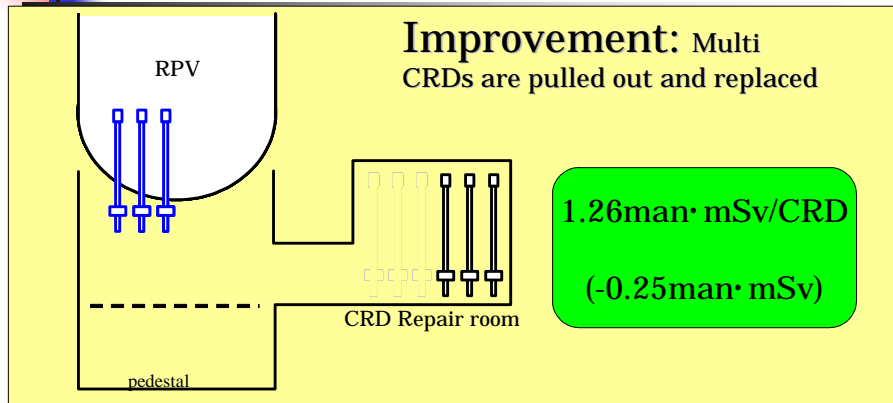


浜岡原子力発電所 1～5号機の年間作業線量及び定検作業線量の推移の説明に続いて、設計、水化学、D/W 遮へい、配管遮へい、遠隔自動操作機器、モックアップ訓練、及び職員の提案による線量低減活動など、多方面での線量低減への努力を紹介された。特徴的な線量低減対策として、CRD 取替作業手順の改善（これも職員のアイデア）、SRV への配管接続方向の図面描画方法の標準化などが挙げられる。職員の提案による線量低減活動については、1994 年以来、現場での業務改善に褒賞を与えることにより、線量低減に向けた提案への動機付けとしており、多数の改善実績を挙げているとのことで、幾つかの実例が紹介された。



5-2.Improvement of CRD Replacement Procedure

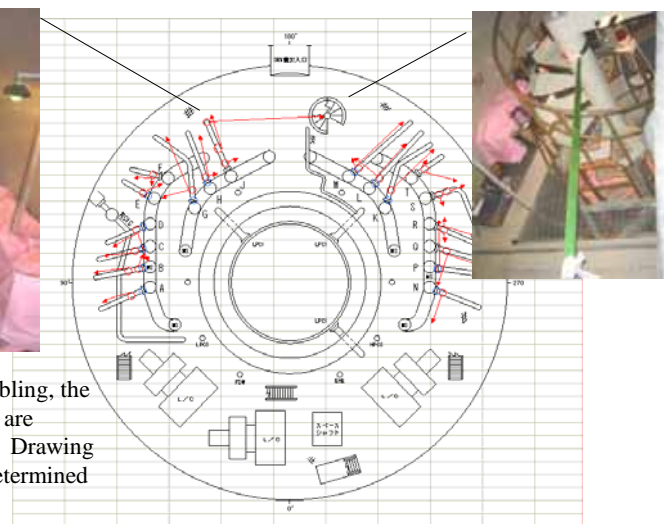
Unit No.3



12

5-3.Standardization of drawing directions of the connected Pipes to SRVs

Unit No.3



When SRVs disassembling, the lines connected SRVs are needed to be removed. Drawing directions should be determined in advance.

13